



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ  
コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経  
理、貿易業務担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	27,869	5.7	2,416	△4.0	2,516	△3.1	1,678	△3.5
2024年3月期第1四半期	26,362	△1.1	2,517	13.8	2,596	9.9	1,738	9.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,988百万円 (△30.5%) 2024年3月期第1四半期 2,860百万円 (35.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	49.15	48.48
2024年3月期第1四半期	50.93	50.43

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	98,781	84,951	83.8	2,424.50
2024年3月期	102,701	84,284	80.1	2,410.12

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 82,774百万円 2024年3月期 82,283百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期 (予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	54,100	4.3	4,450	4.3	4,500	2.6	2,950	0.6	86.41
通期	110,000	3.9	9,000	13.5	9,100	8.2	6,000	3.7	175.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	37,375,636株	2024年3月期	37,375,636株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,234,699株	2024年3月期	3,234,699株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	34,140,937株	2024年3月期1Q	34,140,959株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境が改善しているものの、円安進行などによる物価の上昇により、消費者の節約志向の意識は高く、依然として先行きの不透明な状況となっております。

当社グループが身をおく流通業界においても、原材料費・物流費・人件費をはじめとする各種コストの上昇、電気代や生活必需品などの物価上昇による生活防衛意識の高まりにより、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループといたしましては、2025年3月期の経営方針として、『100年続く経営土台を描こう!』を掲げ、取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高27,869百万円(前年同期比105.7%)、売上総利益8,335百万円(前年同期比105.6%)と伸長したものの、販売費及び一般管理費は、主に販売強化に伴う販売促進費などが増加し、営業利益2,416百万円(前年同期比96.0%)、経常利益2,516百万円(前年同期比96.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,678百万円(前年同期比96.5%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### 「開発型ビジネスモデル」

家庭用品関連の定番フライパン「evercook(エバークック)」が前期後半からの売場拡大が奏功して好調な販売となったほか、4月から広い地域で高い気温を観測するなどにより、氷かき器やハンディ扇風機、クールネックバンドなど夏物商品の導入が好調に推移しました。

新たに展開したハイパワーでふくらはぎをケアする家電「ゴリラのひとつかみ」は、発売以来、SNSでの注目やメディアでの露出が増加しご好評いただいております。

また、生活用品の物価上昇が続いていることから均一価格ショップ向け商品が食品、非食品の雑貨類ともに好調な販売となりました。

その結果、当セグメントの売上高は15,062百万円(前年同期比108.0%)、セグメント利益1,431百万円(前年同期比93.4%)となりました。

#### 「卸売型ビジネスモデル」

有名ブランド関連では、当社が販売代理店のアウトドアブランド「STANLEY(スタンレー)」において、主力のマグボトル商品である真空スリムクエンチャーを中心に、ポップアップストアの展開やSNSで人気上昇し、そのデザイン性と機能性が高く評価され、販売が伸長しました。

ブランドバッグ・ブランド時計については、ディスカウントストアを中心に、旅行用スーツケースやカジュアルブランド商品、ジュエリー・アクセサリ類の販売が好調に推移した一方、高価格帯の時計の販売やバッグ専門店向けの販売については前年同期を下回りました。

ギフト関連では、中元ギフトの導入が前年同期水準で進みました。また、市場に合わせた商品の改廃により利益率が改善いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は11,883百万円(前年同期比104.1%)、セグメント利益1,363百万円(前年同期比121.8%)となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は76,504百万円となり、前連結会計年度末(80,452百万円)に比べ3,948百万円減少いたしました。これは主に、受取手形288百万円、売掛金3,233百万円、電子記録債権561百万円、商品及び製品904百万円の増加及び、現金及び預金8,734百万円、その他197百万円の減少によるものであります。

固定資産は22,276百万円となり、前連結会計年度末(22,248百万円)に比べ28百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券179百万円の増加及び、建物及び構築物(純額)51百万円、有形固定資産その他(純額)9百万円、無形固定資産7百万円、繰延税金資産87百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、98,781百万円となり、前連結会計年度末(102,701百万円)に比べ3,920百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は12,797百万円となり、前連結会計年度末(17,377百万円)に比べ4,579百万円減少いたしました。これは主に、買掛金1,782百万円、その他819百万円の増加及び、1年内返済予定の長期借入金6,600百万円、未払法人税等534百万円、役員賞与引当金39百万円の減少によるものであります。

固定負債は1,032百万円となり、前連結会計年度末(1,040百万円)に比べ7百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る負債4百万円、その他3百万円の減少によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は84,951百万円となり、前連結会計年度末(84,284百万円)に比べ667百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,678百万円、その他有価証券評価差額金110百万円、為替換算調整勘定94百万円、非支配株主持分132百万円の増加及び剰余金の配当1,365百万円、繰延ヘッジ損益24百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、83.8%(前連結会計年度は80.1%)となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は46,452百万円となり、前連結会計年度末より7,734百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は843百万円(前年同期は2,776百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,516百万円、減価償却費181百万円、仕入債務の増加額1,757百万円、未払消費税等の増加額171百万円、その他の流動資産の減少額170百万円、その他の流動負債の増加額557百万円による増加及び売上債権の増加額4,058百万円、棚卸資産の増加額896百万円、法人税等の支払額1,238百万円による減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は941百万円(前年同期は1,229百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1,000百万円による増加及び、有形固定資産の取得による支出23百万円、無形固定資産の取得による支出29百万円、投資有価証券の取得による支出6百万円による減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は7,964百万円(前年同期は1,412百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出6,600百万円、配当金の支払額1,337百万円による減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,187	46,452
受取手形	271	560
売掛金	13,722	16,956
電子記録債権	1,476	2,037
商品及び製品	8,889	9,793
短期貸付金	5	2
その他	900	703
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	80,452	76,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,980	14,030
減価償却累計額	△6,163	△6,265
建物及び構築物 (純額)	7,816	7,764
土地	9,385	9,385
建設仮勘定	—	6
その他	3,432	3,445
減価償却累計額	△2,719	△2,741
その他 (純額)	713	703
有形固定資産合計	17,914	17,859
無形固定資産	421	413
投資その他の資産		
投資有価証券	2,683	2,862
長期貸付金	1	—
繰延税金資産	124	37
その他	1,109	1,111
貸倒引当金	△6	△7
投資その他の資産合計	3,912	4,003
固定資産合計	22,248	22,276
資産合計	102,701	98,781
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,487	8,269
1年内返済予定の長期借入金	6,600	—
未払法人税等	1,363	828
役員賞与引当金	58	19
賞与引当金	11	4
その他	2,855	3,675
流動負債合計	17,377	12,797
固定負債		
退職給付に係る負債	641	637
資産除去債務	10	10
その他	388	384
固定負債合計	1,040	1,032
負債合計	18,417	13,830

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,273	6,273
利益剰余金	75,008	75,320
自己株式	△5,105	△5,105
株主資本合計	81,169	81,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	536	646
繰延ヘッジ損益	146	122
為替換算調整勘定	404	498
退職給付に係る調整累計額	26	24
その他の包括利益累計額合計	1,114	1,292
新株予約権	309	353
非支配株主持分	1,690	1,823
純資産合計	84,284	84,951
負債純資産合計	102,701	98,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	26,362	27,869
売上原価	18,469	19,533
売上総利益	7,893	8,335
販売費及び一般管理費	5,375	5,919
営業利益	2,517	2,416
営業外収益		
受取利息	12	17
受取配当金	27	29
為替差益	13	28
助成金収入	—	0
その他	31	30
営業外収益合計	84	106
営業外費用		
支払利息	1	0
支払手数料	0	0
その他	3	4
営業外費用合計	5	6
経常利益	2,596	2,516
税金等調整前四半期純利益	2,596	2,516
法人税、住民税及び事業税	763	746
法人税等調整額	50	49
法人税等合計	813	796
四半期純利益	1,782	1,720
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,738	1,678



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,782	1,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	110
繰延ヘッジ損益	870	△24
為替換算調整勘定	168	184
退職給付に係る調整額	2	△1
その他の包括利益合計	1,077	268
四半期包括利益	2,860	1,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,735	1,856
非支配株主に係る四半期包括利益	125	132

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,596	2,516
減価償却費	192	181
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44	△39
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	△6
株式報酬費用	45	43
助成金収入	—	△0
受取利息及び受取配当金	△39	△46
支払利息	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,124	△4,058
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,531	△896
仕入債務の増減額 (△は減少)	198	1,757
未払消費税等の増減額 (△は減少)	251	171
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△59	170
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	87	557
その他	4	2
小計	△1,411	348
利息及び配当金の受取額	39	48
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△1,402	△1,238
助成金の受取額	—	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,776	△843
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000	—
定期預金の払戻による収入	—	1,000
有形固定資産の取得による支出	△50	△23
無形固定資産の取得による支出	△173	△29
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
貸付金の回収による収入	3	3
その他の支出	△1	△2
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,229	941
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△6,600
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	△36	△27
配当金の支払額	△1,166	△1,337
非支配株主への配当金の支払額	△210	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,412	△7,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	134	132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,284	△7,734
現金及び現金同等物の期首残高	52,639	54,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,355	46,452

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	13,951	11,419	25,370	957	26,327	—	26,327
その他の収益	—	—	—	34	34	—	34
外部顧客への売上高	13,951	11,419	25,370	992	26,362	—	26,362
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	2,082	2,082	△2,082	—
計	13,951	11,419	25,370	3,075	28,445	△2,082	26,362
セグメント利益	1,532	1,119	2,652	195	2,847	△329	2,517

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△329百万円は、セグメント間取引の消去15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△111百万円及びその他調整額△234百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	15,062	11,883	26,945	886	27,832	—	27,832
その他の収益	—	—	—	37	37	—	37
外部顧客への売上高	15,062	11,883	26,945	924	27,869	—	27,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	2,203	2,203	△2,203	—
計	15,062	11,883	26,945	3,127	30,073	△2,203	27,869
セグメント利益	1,431	1,363	2,795	128	2,924	△507	2,416

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△507百万円は、セグメント間取引の消去25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108百万円及びその他調整額△424百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。